

ex11-6.c

関数 `max()` は、2つの `double` 型の値 `a`, `b` を引数として受け取り、そのうちの大きい方の値を返す `double` 型の関数である。関数 `max4()` は、4つの `double` 型の値 `a`, `b`, `c`, `d` を引数として受け取り、そのうちのもっとも大きい値を返す `double` 型の関数である。関数 `max()`, `max4()` を定義しなさい。これらの関数を用いて、4つの実数値を入力するとその最大値を出力することを繰り返すプログラム **ex11-6.c** を作成し、`kiso2` コマンドを用いて提出しなさい。ただし、入力された4つの実数値がすべて等しい場合、プログラムは最大値を出力した後に終了するものとする。

実行例：

```
t190900@s01cd0542-160:~/kiso2-2019/ex11$ ./ex11-6
a b c d? 1 2 3 4
max: 4.000000
a b c d? 4.1 4 4 4
max: 4.100000
a b c d? -12.3 4.5 67.8 9.0
max: 67.800000
a b c d? 1 1 1 1.1
max: 1.100000
a b c d? 1 1 1 1
max: 1.000000
```

From:

<https://www-slab.math.ryukoku.ac.jp/> - **www-slab.math**

Permanent link:

<https://www-slab.math.ryukoku.ac.jp/lecture/kiso2/ex/ex11-6.c>

Last update: **2019/11/29 16:07**

